

第83回 簿記実務検定第 2 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
未 着 商 品	積 送 品	支 払 手 形	買 掛 金
未 払 配 当 金	資 本 金	資 本 準 備 金	利 益 準 備 金
新 築 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	売 上	受 取 利 息
仕 入	発 送 費	社 債 利 息	創 立 費
株 式 交 付 費	社 債 発 行 費	黒 部 支 店	高 岡 支 店
本 店			

- a. 山梨商事株式会社は、事業規模拡大のため、あらたに株式400株を1株につき ¥130,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥50,000 は資本金に計上しないことにした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ¥460,000 は小切手を振り出して支払った。
- b. さきに、北部商店から商品代金として受け取っていた同店振り出し、当店あての約束手形について、支払期日の延期の申し出があり、これを承諾した。よって、支払期日の延期にともなう利息 ¥9,000 を加えた新しい手形 ¥1,809,000 を受け取り、旧手形と交換した。
- c. 東海物産株式会社（発行済株式数2,900株）は、株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。ただし、繰越利益剰余金勘定の貸方残高は ¥3,045,000 である。
 利益準備金 ¥203,000 配当金 1株につき ¥700 新築積立金 ¥400,000
- d. かねて、新潟商店に販売を委託してあった商品（仕入原価 ¥340,000 発送諸掛 ¥6,000）について、同店から売上計算書（売上高 ¥479,000 保管料等の諸掛 ¥26,000）とともに差引手取金 ¥453,000 を小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- e. 富山商店の本店は、高岡支店から、黒部支店の得意先福井商店に対する売掛金 ¥760,000 を、同店振り出しの小切手で回収したとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。（本店の仕訳）
- f. 岐阜産業株式会社は、次の条件で発行している社債について、半年分の利息を小切手を振り出して支払った。
発行条件 額面総額 ¥40,000,000 払込金額 額面 ¥100 につき ¥98.30
 償還期限 10年 利 率 年1.4% 利 払 い 年2回
- g. 甲信越商店に注文していた商品 ¥785,000 について、本日、同店が取り組んだ荷為替 ¥628,000 の引き受けをして、船荷証券を受け取った。なお、残額は掛けとした。

2

次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と仕入帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 iii すでに記入してある取引も転記すること。
 iv 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と売上帳を用いている。

取引

1月16日 長野商店から13日に仕入れた商品について、次のとおり値引きを受けた。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品 100個 @¥20 ¥2,000

18日 静岡商店に対する売掛金 ¥170,000 が、当店の当座預金口座に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。

24日 三重商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

B 品 300個 @¥750 ¥225,000

27日 愛知商店に対する買掛金 ¥260,000 を小切手を振り出して支払った。

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 東部商店（個人企業）の本店・支店の貸借対照表と未達事項および本支店合併後の貸借対照表によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額
 b. 本支店合併後の商品（アの金額）
 c. 本支店合併後の当期純利益（イの金額）

本店 貸借対照表
平成○年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	330,000	支払手形	960,000
当座預金	2,020,000	買 掛 金	734,000
売 掛 金	1,590,000	資 本 金	()
商 品	()	当期純利益	812,000
備 品	1,470,000		
支 店	736,000		
	()		()

支店 貸借対照表
平成○年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	254,000	支払手形	940,000
当座預金	()	買 掛 金	()
売 掛 金	421,000	本 店	485,000
商 品	369,000		
備 品	246,000		
当期純損失	()		
	()		()

未 達 事 項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥92,000（原価）が、支店に未達である。
 ② 支店で本店の買掛金 ¥165,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
 ③ 本店で支店受取分の手数料 ¥42,000 を受け取ったが、この通知が支店に未達である。
 ④ 支店で本店の広告料 ¥36,000 を立て替え払いしたが、この通知が本店に未達である。

〔本支店合併後の貸借対照表〕

貸 借 対 照 表
平成○年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	()	支払手形	()
当座預金	2,680,000	買 掛 金	1,282,000
売 掛 金	2,011,000	資 本 金	4,560,000
商 品	(ア)	当期純利益	(イ)
備 品	1,716,000		
	()		()

- (2) 下記の略式の伝票（/月20日）を集計しさいの仕訳集計表の（a）～（c）に入る金額を求めなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取 引

/月20日 品川商店へ商品 ¥587,000 を売り上げ、代金のうち ¥60,000 は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は掛けとした。

入金伝票	
売掛金	798,000
受取手数料	24,000
当座預金	300,000
()	()

出金伝票	
当座預金	419,000
買掛金	394,000
消耗品費	8,000
()	()

売上传票	
杉並商店	838,000
新宿商店	749,000
中野商店(値引)	26,000
()	()

仕入伝票	
足立商店	562,000
目黒商店(戻し)	36,000
渋谷商店	679,000
文京商店	734,000

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
支払手形	156,000	当座預金	156,000
当座預金	240,000	売掛金	240,000
消耗品費	15,000	当座預金	15,000
買掛金	501,000	支払手形	501,000
消耗品費	23,000	当座預金	23,000
()	()	()	()

仕訳集計表
平成○年/月20日

借方	平	勘定科目	平	貸方
		現金		
		当座預金		
		売掛金		(a)
		支払手形		
		買掛金		
		売上		
		受取手数料		
		仕入		
(b)		消耗品費		
(c)				(c)

- (3) 石川株式会社（決算年/回 /2月3/日）の次の勘定と資料によって、（①）に入る勘定科目と（②）に入る金額を記入しなさい。

仮払法人税等	
8/26 () ()	12/31 (①) ()

未払法人税等	
2/24 当座預金 ()	1/1 前期繰越 310,000
12/31 次期繰越 ()	12/31 () (②)
()	()

法人税等	
12/31 () ()	12/31 () ()

資 料

- i 2月末までに、確定申告をおこなっている。
- ii 8月末までに、前期の法人税・住民税及び事業税額の2分の1を中間申告している。
- iii 税金の納付は、小切手を振り出しておこなっている。
- iv 法人税・住民税及び事業税の計上額
前期 ¥600,000
当期 ¥650,000

4

東京商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、損益計算書（2区分）と貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 698,000	当座預金	¥ 2,416,000	受取手形	¥ 1,800,000
売掛金	2,300,000	貸倒引当金	7,000	有価証券	1,440,000
繰越商品	1,870,000	備品	1,200,000	備品減価償却累計額	300,000
支払手形	871,000	買掛金	2,378,000	前受金	200,000
借入金	250,000	資本金	7,000,000	売上	19,600,000
受取手数料	129,000	仕入	14,320,000	給料	3,408,000
支払家賃	756,000	保険料	195,000	消耗品費	132,000
租税公課	38,000	雑費	152,000	支払利息	10,000

付記事項

- ① 得意先北陸商店から商品の注文を受け、内金 ¥200,000 を受け取っていたが、得意先中部商店に対する売掛金の回収額として処理していたので、これを修正する。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,630,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定率法による。ただし、償却率は25%とする。
- d. 有価証券評価高 売買を目的として保有する次の株式について、時価によって評価する。
南部商事株式会社 24株
帳簿価額 1株 ¥60,000 時価 1株 ¥57,000
- e. 消耗品未使用高 ¥ 34,000
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥168,000 は、本年3月/日からの/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 利息未払高 ¥ 5,000

第83回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [答案用紙]

1	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号

[illegible]

仕 入 帳

2

[illegible]

総勘定元帳

現金		1	当座預金		2
1/1 前期繰越	317,000		1/1 前期繰越	843,000	
受取手形		3	売掛金		4
1/1 前期繰越	890,000		1/1 前期繰越	1,410,000	
買掛金		12	仕入		18
		1/1 前期繰越 1,050,000			

売掛金元帳

静岡商店		1
1/1 前月繰越	370,000	

買掛金元帳

長野商店		1	愛知商店		2
		1/1 前月繰越 50,000			1/1 前月繰越 480,000

3

(1)	a	支店勘定残高との差	b	本支店合併後の商品(アの金額)
	c	本支店合併後の当期純利益(イの金額)		

(2)	a		b		c	
-----	---	--	---	--	---	--

(3)	①		②	
-----	---	--	---	--

2		3	
得点		得点	

4

損 益 計 算 書

東京商店

平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期 首 商 品 棚 卸 高		売 上 高	
仕 入 高		()	
()			
給 料		()	
()		受 取 手 数 料	
()			
支 払 家 賃			
保 険 料			
消 耗 品 費			
租 税 公 課			
雑 費			
支 払 利 息			
()			
()			

貸 借 対 照 表

東京商店

平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		借 入 金	
売 掛 金 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		資 本 金	
有 価 証 券		()	
商 品			
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

4
得点

第83回 簿記実務検定 2級 商業簿記 〔解答〕

	借 方	貸 方
a	当座預金 52,000,000 株式交付費 460,000	資本金 32,000,000 資本準備金 20,000,000 当座預金 460,000
b	受取手形 1,809,000	受取手形 1,800,000 受取利息 9,000
c	繰越利益剰余金 2,633,000	利益準備金 203,000 未払配当金 2,030,000 新築積立金 400,000
d	当座預金 453,000 仕入 346,000	売上 453,000 積送品 346,000
e	高岡支店 760,000	黒部支店 760,000
f	社債利息 280,000	当座預金 280,000
g	未着商品 785,000	支払手形 628,000 買掛金 157,000

商業簿記 〔解〕 〔答〕

2

当 座 預 金 出 納 帳											
平成 〇年											
勘定科目	摘要	平 子	売掛金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	平 子	買掛金	諸 口	
			520,000	210,000			前ページから		350,000	190,000	
/ 12	受取手形	約手入金 3		180,000	1 24	仕 入	三重商店	✓		225,000	
18	売掛金	静岡商店 売1	170,000		27	買掛金	愛知商店	買2	260,000		
			690,000	390,000					610,000	415,000	
31				690,000	31		買掛金 12			610,000	
〃				1,080,000	〃		当座預金 2			1,025,000	
				843,000			次月繰越	✓		898,000	
				1,923,000						1,923,000	

仕入帳

平成 〇年	勘定科目	摘要	元	買掛金	諸口
/	現金	前ページから	✓	510,000	250,000
	買掛金	長野商店	買1		100,000
		A品 800個 @¥600		380,000	
16	買掛金	長野商店	買1	2,000	
		A品 100個 @¥20			
24	当座預金	三重商店	小切手		225,000
		B品 300個 @¥750			
				890,000	575,000
31		買掛金	12		890,000
〃		総仕入高	18		1,465,000
〃		仕入値引高	12/18		2,000
		純仕入高			1,463,000

総勘定元帳

現金		当座預金	
1		2	
1/1 前期繰越	317,000	1/1 前期繰越	843,000
		31	1,080,000
受取手形		売掛金	
1/1 前期繰越	890,000	1/1 前期繰越	1,410,000
		1/31	690,000
買掛金		仕入	
1/31	610,000	1/1 前期繰越	1,465,000
"	2,000	31	890,000
静岡商店		愛知商店	
1		1	
1/1 前期繰越	370,000	1/18	170,000
長野商店		1/27	
1		2	
1/16	2,000	1/1 前期繰越	50,000
	13	380,000	1/1 前期繰越
			480,000

3

(1)	支店勘定残高と本店勘定残高の差		535,000	本店合併後の商品 (アの金額)	1,381,000
	支店合併後の当期純利益 (イの金額)		630,000		

(2)	a	1,124,000	b	46,000	c	7,149,000
-----	---	-----------	---	--------	---	-----------

(3)	①	法人税等	②	350,000
-----	---	------	---	---------

損益計算書

東京商店		平成〇年/月/日から平成〇年/2月31日まで	
費用		金額	収益
期首商品棚卸高		1,870,000	売上高
仕入高		14,320,000	(期末商品棚卸高)
※売上総利益		5,040,000	
		21,230,000	
給料		3,408,000	(売上総利益)
(貸倒引当金繰入)		79,000	受取手数料
(減価償却費)		225,000	
支払家賃		756,000	
保険料		167,000	
消耗品費		98,000	
租税公課		38,000	
雑費		152,000	
支払利息		15,000	
(有価証券評価損)		72,000	
※当期純利益		159,000	
		5,169,000	

(i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
(ii ※印の売上総利益と当期純利益の記入は、赤字でもよい。)

貸借対照表

東京商店		平成〇年/2月31日	
資産	負債および純資産	金額	金額
現金	支払手形	698,000	871,000
当座預金	買掛金	2,416,000	2,378,000
受取手形(1,800,000)	(前受金)		400,000
貸倒引当金(36,000)	借入金	1,764,000	250,000
売掛金(2,500,000)	(未払利息)		5,000
貸倒引当金(50,000)	資本金	2,450,000	7,000,000
有価証券	(当期純利益)	1,368,000	159,000
商品		1,630,000	
(消耗品)		34,000	
(前払保険料)		28,000	
備品(1,200,000)			
減価償却累計額(525,000)		675,000	
		11,063,000	11,063,000